

## カリキュラム

機構施設名： 静岡職業能力開発促進センター

実施機関名： 株式会社日本コンサルタントグループ

26-22-12-132-059

A. バックオフィス	132 生成AIの活用
新技術活用	

コースのねらい	生成AIの概要とビジネスの現場における、具体的な活用シーン等について理解し、AIと協働することによる業務の質とスピードを高める技術を習得する。
---------	---

講義内容	「基本項目」		「主な内容」	訓練時間 (H)	日 程	
					月 日	時刻
講義内容	1	生成AIの概要	(1) 生成AIとは 人工知能の基本的な概要やトレンドについて紹介します。また、生成AIの仕組み(大規模言語モデル)や画像生成の仕組みについて概要を説明します。	0.5	令和8年 8月25日(火)	9:30~16:30  昼休憩 12:00~13:00
			(2) 生成AIの種類と動向 生成AIの種類(ChatGPT、Gemini、Copilot、Claude等)の特徴と発展の動向について解説します。また、一般的なモデルを使ったテキストチャットから進化するAIツール、AIエージェント(Claude Cowrok、Genspark等)の動向についてデモを交えながら紹介します。	1.0		
	2	生成AIの活用事例と今後の展望	(1) 生成AIの基本操作ワークショップ【演習あり】 生成AIの基本的な操作を解説します。特に、性能を引き出す指示(プロンプト)の書き方のコツや失敗しやすいポイント、画像や音声からインプットする方法など基本操作のワークショップを通じて体験し、生成AIを活用していく基本を身に付けます。	1.5		
			(2) 生成AIの活用事例と実践ワークショップ【演習あり】 生成AIの使い方を5つの使い方(創造・整理・変換・探索・分析)の観点から、講師によるデモ→実践演習→業務活用へのアイデア出しというワークショップを実施しながら可能性や実践的な使い方を学び、自分たちの業務に具体的にどう活用できるかワークショップやディスカッションを通じて学んでいきます。	2.5		
			(3) 生成AI導入の留意点 生成AIを使う場合の留意点(倫理面、セキュリティリスク、情報漏洩リスクなど)を解説すると同時に対策方法を解説します。特に最近増加してきた「不適切な使い方」(例:そのまま使う、内容を確認しない、責任を取らないなど)に対して注意を促します。また、今後予測される発展について考察しながら未来を予想しながら学びを深めます。	0.5		
			合計時間	6時間		

カリキュラム作成のポイント	生成AIという言葉やデジタル技術が苦手な人に対しても基本から優しく解説します。また、進化が早い新技術のためなるべく最新情報を提供すると同時に、具体的な事例やデモを交えながら実践的な理解を促進します。グループ内の議論や最新的话题を提供しながら、楽しい雰囲気重視しながら進行し、基本操作の演習やワークショップを通じて使い方の勘所を理解します。参加者同士の交流を進め、広い視野と知見を育む内容といたします。
---------------	--